



道農連

2014年12月の月間活動トピックス

HP <http://donouren.sakura.ne.jp> (1月からHPのアドレスが変更となりました)

全道地区・市町村組織委員長会議で農民代表者集会などを開催

道農連は12月2日、全道地区・市町村組織委員長会議を札幌市内ホテルで開催した。第1部を全道農民代表者集会、第2部を農政研修会として実施し、各地区市町村組織の代表者約130名が参加した。

第1部の「安心できる食料・農業・農村政策の確立を求める全道農民代表者集会」では、「米価暴落・生産コスト上昇・収益性悪化を克服し安心できる食料・農業・農村政策の確立を求める決議」と「TPP交渉からの撤退を求める決議」の2本を採択した。

第2部の農政研修会では、農村金融研究会の原弘平専務理事を講師に招き、「国際家族農業年と協同の価値」と題した講演を行った。

なお3日には、農民代表者集会での生産現場の声を踏まえ、需給適正化や生産コスト割れ分を償う更なる緊急対策の実現を改めて確認し、集会決議の実現に向けて引き続き対策運動を強化していくとした「26年産米価暴落に対する緊急アピールを」発表した。

道農連三役中央行動で畜産物価格等の 国会議員対策を実施

道農連は12月25日、山田委員長ら三役で酪農・畜産対策等中央行動を実施した。12月の総選挙で選出された道内の衆議院議員をはじめ参議院議員に対し、27年度加工原料乳補給金単価の引き上げなどを要請した。

あわせて、国内野菜の自給率向上と経営安定対策の強化を図るため、「野菜政策等に関する要請」も実施した。

第5回執行委員会を開催

道農連は12月19日、第5回執行委員会を開催し、第42回定期総会を2月12・13日の日程で開催することを決めた。

また、米や酪農・畜産、畑作・野菜など当面する対策や、平成26年度一般会計決算及び27年度予算案などについて協議した他、第42回定期総会の総会役員担当地区などを決定した。

12月の活動記録(上記以外)

- 1日 北海道農業・農村確立連絡会議拡大幹事会
- 4日 後志地区農民連盟税務及び農政研修会
- 5日 第1回組織財政委員会
北見地区農民連盟「合同研修会」
- 8日 北海道農業青色申告会26年度簿記記帳・青色申告講習会(～10日)
- 12日 全上川農連第1回政策検討委員会・税対合同会議
てん菜協会第4回企画調整専門部会
- 15日 北海道農業再生協議会平成26年度第1回臨時総会
- 19日 三役会議、一般財団法人道農連会館理事会
- 24日 食・みどり・水を守る道民の会2015年度総会・講演会

1月の活動予定

- 6日 連合北海道新年交礼会
- 7日 三役会議
- 9日 北海道農業・農村確立連絡会議中央行動
- 15日 書記長・事務局長会議
第1回役員選考世話人会
- 19日 てん菜の明日を考える会
- 20日 道農連会計監査、(一財)道農連会館会計監査
- 22日 第6回(最終)執行委員会
- 23日 食料・農業・農村政策審議会企画部会地方公聴会(北海道)
- 30日 高品質てん菜生産出荷共励審査委員会

詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(011-241-5416)まで